

キラリ 輝け 山陽中 No.21 (26.06.10) 文責 内海雅章

対話探究研修について

6月8日(月)、教員の対話探究研修、ファシリテーション研修の一環として、本校教員を対象に授業公開を実施しました。この事業は姫路市立各中学校の保健体育科教員の研修も兼ねており、多数の教員の見守る中、3-3.4女子の「保健」の授業を公開しました。この対話探究研修は、令和4年度から本校で実施しており、毎回、関西大学、岩崎保之教授を招いて行っています。



公開授業を受けて、体育館で合同研修という形になりました。



岩崎教授からは、生徒たちの活発な意見、自分の思い、考えが発表できていると高評価をいただきました。生徒が褒められると、私もうれしいものです。生徒たちは、大勢の教員に見守られながら、緊張もしたと思いますが、該当クラスの生徒の皆さん、ありがとうございました。

ファシリテーションとは、単に「会議をスムーズに進行するテクニック」ではなく、「参加者一人ひとりの声を大切にし、そこから新しい気づきや合意を紡(つむ)ぎ出すマインド」そのもの。

「主体的・対話的で深い学び」の重要性は、以前から言われておりますが、教えられるだけの授業ではなく、生徒自らが考え、発表し、時には対話を通して、正解を導き出す。または、その時の最良の方法を考えることが大切です。この力が、将来自分の力で社会の中で生活していく糧となります。